



# JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 305

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内  
tel. 088 (655) 4105  
fax. 088 (655) 4113  
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



### 当面の日程

- ◎ 7月27日(土)～28日(日)  
連合の森(中尾山)
- ◎ 8月5日(土)～6日(日)  
平和行動 in 広島
- ◎ 8月9日(金) 「クラシソコアゲ応援団！  
RENGOキャンペーン」(JR徳島駅前)

冒頭、川口副会長の開会あいさつの後、電力総連・祖父江地方委員を議長に選出した。連合徳島森本会長は、2019春闘、最低賃金、働き方改革の取り組みなどに触れた上で、「4月の地方統一選挙は、皆さんのご協力により、推薦候補者全員の当選を果たすことができた。第25回参議院議員選挙においては、各構成組織は、比例代表選挙を中心に据え、しっかりと議論し組合員に明確に説明できるように最大限の努力をお願いする」とあいさつ。連合本部・相原事務局長は、「国民が将来にわたって希望と安心の持てる、真に幸せな社会をつくるのが重要である。そのための、新しいルールをつくり、実現するために、参議院選挙に取り組み



新居新会長団結ガンバロウ

### 連合徳島地方委員会

## 「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け

### 後期主要課題の方針を承認 新会長に新居栄治氏(電機連合)選出

連合徳島は6月26日、徳島市の阿波観光ホテルで2019年度連合徳島地方委員会を開き、執行部 地方委員65人(内女性15人)など30構成組織90人が参加。2019春季生活闘争の中間まとめを行うとともに、後期主要課題の取り組み方針などを決定した。



新任あいさつを行う新居会長

う」と来賓あいさつ。続いて、春木徳島県商工労働観光部副部長、労働福祉事業団体を代表して、河村四国労働金庫副理事長、国民民主党徳島県連・中野北島町議、社民党徳島県連・中野副代表、連合徳島推薦議員ネットワーク・春田徳島市議、増田徳島市議、橋本阿南市議、中野北島町議から連帯と激励のあいさつを受けた。報告事項では、島事務局長から一般経過報告、小谷財政部長から2019年度上半期一般会計報告、水元会計監査から会計監査報告を行い全体の拍手で承認された。議事では、島事務局長から第1号議案・2019年春季生活闘争の中間まとめ(案)、第2号議案・2019年度後期主要課題の取り組み方針(案)について提案し、質疑討論の後、全体の



地方委員会には、33構成組織90人が参加

拍手で承認された。質疑では、自治労・中川地方委員から、「地方自治法及び地方公務員法が改正され、2020年4月1日から会計年度任用職員制度がスタートし、公務職場にも、同一労働・同一賃金の働き方改革が導入される。自治労県本部も、同一労働・同一賃金の実現に向け取り組んでいるので、連合徳島の引き続きの支援をお願いする。」UAゼンセン・谷本地方委員から「同一労働・同一賃金のガイドライン案で示されていない、労災付加給付、退職金、家族手当、住宅手当についてどのように考え、どのように取り組んでいくのか。外国人労働者からの主な相談内容やどのような成果と課題があるのか」と2本の発言があった。第3号議案・連合徳島役員補充選

挙について(案)では、鎌谷役員推薦委員会委員長、谷本選挙管理委員会委員長が報告を行い、原田中小労働対策本部長が、提案。新居栄治会長(電機連合)、大谷竹人会長代行(自治労)、良田義和副会長(電機連合)が全体の拍手で選任された。第4号議案・顧問の委嘱について(案)では、新居新会長が提案し、全体の拍手で森本前会長への委嘱が承認された。第5号議案・表彰について(案)も全体の拍手で承認され、新居新会長から森本前会長へ、感謝状と記念品の贈呈が行われた。小畑青年委員長が、組織拡大と強化の取り組み、政策・制度実現の取り組み、政治活動の取り組み等の地方委員会アピール(案)の提案を行い、採択され、藤田副会長の閉会あいさつの後、新居新会長の団結ガンバロウで地方委員会を閉会した。

質疑を行う中川地方委員(自治労・右)、谷本地方委員(UAゼンセン・左)



質疑を行う中川地方委員(自治労・右)、谷本地方委員(UAゼンセン・左)

新人  
UAゼンセン  
国民民主党公認

**田村まみ**

新人  
自治労  
立憲民主党公認

**岸まきこ**

第25回参議院選挙  
連合推薦比例区候補者一覧

1期  
自動車総連  
国民民主党公認

**いそざき哲史**

1期  
電機連合  
国民民主党公認

**石上としお**

新人  
JAM  
国民民主党公認

**田中ひさや**

新人  
JP 労組  
立憲民主党公認

**小沢まさひと**

元2期  
日教組  
立憲民主党公認

**みずおか俊一**

1期  
電力総連  
国民民主党公認

**浜野よしふみ**

2期  
情報労連  
立憲民主党公認

**吉川さおり**

新人  
私鉄総連  
立憲民主党公認

**もりやたかし**

女性委員会労働局要請

仕事と育児・介護両立できる  
就業環境整備を要請

6月13日、徳島地方合同庁舎5階会議室において、すべての労働者の人権が尊重され、あらゆる分野への参画の機会が保障され、役割と責任を分かち合う社会、また、性別や雇用形態にかかわらず、すべての労働者が仕事と生活の調和の取れるワーク・ライフ・バランス社会の実

現に向けて、徳島労働局雇用環境・均等室長との意見交換会を実施し、女性委員会から4名が参加した。冒頭、藤田委員長が津森室長に要請書を手渡し、回答を得た。その後、仕事と育児・介護が両立できる就業環境の整備に向けて、育児休業取得モデルプランや周知徹底のための

企業訪問の実施状況、訪問介護サービス事業での、サービス利用者からのハラスメント対策、女性が活躍できる社会実現に向けての、職場だけでなく地域での意識改革、職場におけるあらゆるハラスメントの一元的な相談対応等について意見交換を行い、男女

共同参画社会実現やあらゆるハラスメントをなくすためには、常に意識すること、学んで行くことが必要であることを確認し、意見交換会を終了した。



要請書を提出する藤田委員長(右)

「女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン」周知

集中労働相談ホットライン

連合徳島は、2019年6月4日、JR徳島駅前で「クラシノソコアゲ応援団! R E N G O キャンペーン」駅前

街宣行動を実施し、各構成組織等から31名が参加して街頭宣伝・ビラ配布活動を実施した。

2016年4月に女性活躍推進法、2017年1月には改正育児・介護休業法が施行されるなど、働く女性に関する法制度の整備が進んでおり、女性活躍推進およびハラスメント対策に関する法律も国会で審議されている。

また、民間大手部会新居部会長、国民民主党徳島県連合会黒崎幹事長から、「最低賃金の大幅な引き上げによる経済の好循環の確立」「国民民主党政の政策」などについて述べた。

なお、労働相談ホットラインには、3日、4日の両日、賃金未払い・退職手続き・その他で計4件の相談が寄せられた。



道行く人にアピールを行う弁士ら

冒頭、連合徳島森本会長から「賃金引き上げと生産性を向上させる必要性」「働く女性のための職場環境改善の必要性」について訴えた。

続いて、連合徳島女性委員会藤田委員長からは、「近年、働く女性を取り巻く環境は変化しており、



「政治に関心をもち、声をあげて行動することの大切さを訴える取り組み」アンケート調査

第19期

第2回ボランティア・サポートチーム養成講座

障がい者の介助方法を学習

2019年6月29日、徳島スローワークセンター・あゆみ園にて、第19期ボランティアサポートチーム(V

ST)養成講座の第2回講座を開催し、構成組織等から13名が参加した。

あゆみ園・山口所長より、支援事業の紹介と施設内を見学しながら説明を受け、あゆみ園・吉岡さんからは

車椅子での生活で困る事柄と危険性を聞かせていただき、なのはなヘルパーステーション勤務経験のある受講生の下田さんからは、車椅子の取り扱い方法と白杖体験での注意事項の説明を受けた。あゆみ園周辺道路で車椅子体験・白杖体験並びに視覚障がい者への介助(サ



車椅子体験

長より、「災害時を想定し、障がい者をサポートするための取り組みに感謝する。今後も、あゆみ園を利用してもらおうとにも、あゆみ園の支援事業を広く社会に周知してほしい。」と挨拶。

あゆみ園・山口所長より、支援事業の紹介と施設内を見学しながら説明を受け、あゆみ園・吉岡さんからは車椅子での生活で困る事柄と危険性を聞かせていただき、なのはなヘルパーステーション勤務経験のある受講生の下田さんからは、車椅子の取り扱い方法と白杖体験での注意事項の説明を受けた。あゆみ園周辺道路で車椅子体験・白杖体験並びに視覚障がい者への介助(サ

ポート)訓練を実施した。グループミーティング。各班の報告では、「視覚障がいの方を介助する際には、声掛けと信頼関係が必要である大切さを知った」「少しではあるが障がい者の方の大変さが経験できてよかった」「サポートの仕方を知ることができてよかった」等の内容が発表された。



白杖体験

NPO法人 徳島労働安全衛生センター

第18回総会

2019年6月19日、労働福祉会館502号室において、NPO法人徳島労働安全センター第18回総会が開催され、会員団体から29名(うち委任状11名)が参加した。

総会は吉野副理事長の開会あいさつの後、亀田理事を議長に選出した。冒頭、新居理事長から「当センターは、県内の労働者が安全で健康に働ける職場環境づくりをめざして、活動の大きな柱である第一種衛生管理者養成講座の開催、優良事業所見学会、各種セミナー、安全衛生に関する相談事業を行ってきた。第13次労働



加盟会員から28人が参加

災害防止推進計画については当センターとしても後押しするとともに、働き方改革法への取り組み、メンタルヘルスやパワハラ等の課題に取り組んで行く。会員のみなさんご協力で開催していきたい」とあいさつ。続いて、徳島労働局労働基準部健康安全課三木課長、徳島県商工労働観光部労働雇用戦略課阿部課長、徳島産業保健総合支援センター吉原副所長、(公社)徳島県労働者福祉協議会川越会長、連合徳島森本会長より来賓あいさつを受けた。片岡専務理事が「2018年度活動経過報告、収支決算書、

会計監査報告(岩生監事)、2019年度事業計画(案)、予算(案)、役員に関する件」を提案し、全員の拍手で承認された。また、役員については、理事の互選で引き続き、新居理事長を選任し、鎌谷副理事長の閉会あいさつで第18回総会を終えた。